

## 令和4年度 学校運営協議会 学校関係者評価でいただいたご意見

- 経営の重点目標である自分の考えをもち、表現しようとする子どもの育成～「担い」「認め合う」ことで培う自己有用感～について、教職員の共通理解のもと、十分な成果をあげている。
- 学校長の示す学校経営方針を職員が一致団結して取り組んでいる姿が行事を通して感じられた。
- 研修活動の成果を、児童生徒一人ひとりの指導にいかされることが大切であり、次年度以降も研鑽を積んでいただければと思います。
- 研修によって教員のICT操作の力量があがり、ICTを活用することでチームとしての学校の存在を高めている様に感じています。ICT活用で、より深い学びにつなげることができ、さらに子ども達と向き合う時間が増えたことでしょう。いつもすごいなぁと感じています。
- 小中9年間系統性のある学びの推進にご尽力されている。特にPDCAサイクルによる改善は、必要なことであり、児童生徒が学びたいという気持ちを興させる活動が必要であり、実践されている。
- 中学生が小学生を指導する、また、できる子ができない生徒に教えてあげる等、思いやりを感じる場面が多々見られた。
- 学校の教育活動の様子が学校だよりによって分かりやすく伝えられている。特に座学だけではなく、地域の人材も活用した教育活動が行われており、素晴らしい成果を上げていると思います。
- 学校だより等で子どもたちが楽しく学んでいる様子が良く伝わっていると思われた。
- 児童生徒の実態を踏まえながら、一人ひとりにあった教育課程の編成がなされている。また、ICTの活用により、新しい学びのスタイルの学習活動が行われるなど、子ども達の育成に努められている。
- 保護者の希望や願いを受け止めた学習内容、個に応じた学習指導がなされている。
- 自己肯定感や自己有用感を高める指導、取組がなされている。また、小中9年間の教育活動の中で、人への思いやりの心や感謝の心など、すべての場面で育てる指導がなされていると思います。
- 行事に参加し、児童・生徒の思いやりや優しさを感じることができた。
- 保護者の願いも的確に受け止め、教職員の共通理解のもと、支援のあり方の共有や相談も確立されていると感じています。
- 各関係機関との密接な連携を図りながら、「自立」した生活が送れるよう、今後お願いしたい。
- アンケートの中で、小学校の関係機関との情報共有が他のアンケートからやや低い感じがします。今や情報化時代であり、今後検討すべきと思います。
- いじめについては、子ども達に何かあれば相談に来てくれる関係づくり、また、教員同士が子ども達の人間関係の情報を共有できる体制、人権や命の大切さを伝えることができる環境づくりが大切だと思います。
- 異学年での思いやりの心が育てられていると思います。また、各集会における「伝える」力の育成を感じることができました。
- 学校行事の中でリーダーが一先懸命取り組んでいるように思えた。
- コロナ禍の中で、コロナ感染防止の取組や、交通安全教育、防災教育、スマホによるネットトラブル防止など、意識を高める安全教育が求められていると思います。次年度も継続した指導をお願いします。
- 最近目立った、送迎バスに取り残された場合の処置など、助かる方策について、個々に確認し指導する必要がある。
- 給食指導・保健指導など、発達段階に応じた適切な指導がなされていた。
- 中学3年生の職場実習、中学1・2年生の職場体験学習など、市内企業の協力のもと、個々の生徒の成長した姿が感じ取れました。
- 現場実習の様子を学芸発表会で教えて頂き、子ども達の生き生きとした姿、発表に感動しました。

